

卒業おめでとう！ 第45期生の前途に幸あれ！！

子どもで入学して大人で卒業する中学校…。平成に入学して令和に卒業する皆さんの入学・卒業は、平和に入学してコロナ禍で卒業？と言えるのかもしれませんが。最大の試練は、最後の1年間にありました。しかし皆さんは、この難しい1年間を立派に乗り越え、明日の卒業式を迎えます。第45回の卒業式は“新たな形”での式になりますが、皆さん一人一人に卒業証書を手渡せることに感謝したいと思います。「ありがとう！」

全員との面談の時に、皆さんからは口々に「学校が楽しい！」「八児中学校が好き！」という言葉が返ってきました。その陰には、これまで関わって来られた多くの先生方の努力があったのだと思います。

3年間学年主任として、皆さんに変わることなく深い愛情を注いでくださった先生。皆さんの心を鷲づかみし、「オヤブン」として支えてくださった先生。担任として3年間、皆さんを父親のような包容力で包んでくださった先生。皆さんの進路実現のために、緻密な「進路通信」を出し続けられた先生。若さとバイタリテイにあふれ、授業に生徒指導に奔走された先生。八児学級の担任として、一人一人と丁寧に接し、部活動にも力を注がれた先生。他にも3年間たくさんの先生方に関わっていただいて、皆さんの今がありますね。あなたが一番に影響を受けたのは…？ どの先生ですか？

「何処に行くか は問題ではない、問題は行った所で 何をするか だ！」



私は担任をしていた頃、卒業式後の最後の学活でこの言葉を生徒たちに贈っていました。なぜなら、卒業式の日には、まだ進路が決まっていない生徒もいるんですから…

「実るほど 頭(こうべ)を垂れる 稲穂かな」

田んぼを持つ？八児中学校なら、稲に関する名言もひとつ…自然の生物の姿は、私たちに大切なことを教えてくれます。いつも謙虚にあるべきだと教えてくださった、恩師のことを思い出します。



「譲車早折」 じょうしゃそうせつ…？



車の運転をするようになって分かるんです。わき道から出て車列に入りたそうにしている車を…。見かけた時は、停まって入れてあげましょう。不思議なことに「入れた車はすぐ曲がる…」道を譲った車はいつの間にか目の前からいなくなっています。1台入れたからといって、目的地に着く時間は変わりません。お互いに、気持ちがいい。この四字熟語(座右の銘?)は、私のオリジナル(笑)



保護者の皆様へ お子様のご卒業「おめでとうございます」

明日の「卒業証書授与式」は、時間を短縮して行うこととなりますが、子どもたちにとって思い出深い、温かい式にしたいと考えています。是非、御参列いただき、第45期 卒業生全員を励ましていただければと思います。

9年間、教育を受けさせる義務を全うされた皆様に、改めて敬意を表しますとともに、義務教育最後の学校として、八児中学校を選んでいただいたことに、教職員一同感謝いたします。

※お願い 式後の学活で、教室に上がられる方は、密を避けるため卒業生1名につき、お一人をお願いします。

最後まで気持ちよく見送りをしたいので、携帯電話やカメラ等は、正門を出た後で渡してください。